



救急救命体験

4月19日は雨天のため、火災を想定しての避難訓練は実施できませんでしたが、消防署の方に来ていただき、「**救急救命**」について体験しました。

心臓マッサージのやり方や、**AED**の使い方は、実際にやってみないとどれ位の力加減が必要なのか分かりません。今回は、参加した全員が救急救命の体験をすることができました。

生徒の感想を幾つか紹介します。

AEDを使っているところを見て「**人ごとではない**。いつかなるかも知れない」と思いました。心臓マッサージは思ったよりも力とスピードが必要で、少ししかしていないけれどとても疲れました。

今までは実際に人が倒れていても助けられなかったけど**今日からは出来ることが増えた**と思います。

消防署の方の話で心に残っているのは、「**自分が助けなかったら、倒れている人の命は助からない**」ということです。勇気があるけど「**自分から**」を意識して動きたいです。

AEDを体験させてもらいました。電源の次はパッドを貼るという順番が難しかったです。実際に起きたとしたら、**大きな声で人を呼んで**119番にかけてもらい心臓マッサージをしようと思います。

町や学校にある**AEDの位置**を覚えておきたい。



今回の体験は、近くにいる人に助けを求め協力してもらう「**チームでの活動**」となりました。二体の人形を前に、年齢や性別は関係ありません。「自分から」動くこと、助けを呼ぶ声の大きさ、体験した力加減、テンポ、AEDのパッドの感触、スイッチの硬さなど実際にやってみないと分かりません。

「救急救命」が必要な場面はいつ訪れるか分かりませんが、その時に動けるだけの経験をさせていただきました。

消防署のみなさん、ありがとうございました。

